

～目次～

【1】TKK活動

【2】加盟団体の活動

【3】行政、他団体の活動

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の予定 表題の< >はシリーズ開催です —

【1】TKK活動

* *

<2019 年度 医療及び家族相談会>

第 6 回 2/16(日) 会場は、東京慈恵医科大学第三病院 2 階

◇申し込み:kurakata@brain-tkk.com 090-1734-5114 (担当:藏方) 事務局 Tel/Fax:03-3408-3798

詳しくは、次から:http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=220

●TKK 第 2 回理事会 2019 年 10/30 調布市民プラザ アクロス

来年度事業計画を検討し、現時点で以下の事業を実施することとした。

主な事業の概要は次の通りですが、詳細は今後 HP <http://www.brain-tkk.com/> に掲載します。

<2020 年度 全 2 回シリーズ 高次脳機能障害 実践的アプローチ講習会> … テーマ/講師は変更の場合があります。

東京慈恵会医科大学 西新橋校 大学 1 号館 3 階講堂 (東京都 港区 西新橋 3-19-18)

<テーマ>

<講師(役職等は割愛)>

第 1 回 6/7(日)

① 「高次脳機能障害者支援法(案)の制定に向けて」、 又村あおい氏

② 「高次脳機能障害者の生活行為において 認知行動療法カウンセリングを用いた気づきの促進効果研究」
大嶋伸雄氏

③ 「大脳半球の左右差とりハビリテーション」 渡邊 修氏

④ 「高次脳機能障害者の職場適応促進を目的とした職場への介入」
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者 職業総合センター研究員

第 2 回 9/20(日)

① 「高次脳機能障害と運転再開支援 -制度と実態、海外の状況-」 藤田佳男氏

② 「原因から考える社会的行動障害」 上田敬太氏

③ 「高次脳機能障害のある方への心理的対応～事例を踏まえて～」 山口加代子氏

④ 「事例から学ぶ高次脳機能障害のある方へのソーシャルワーク支援」 鈴木亜都佐氏

<2020 年度 医療及び家族相談会>

A 会場: 東京慈恵医科大学第三病院 2 階

第 1 回 4/26(日) 第 3 回 7/19(日) 第 5 回 12/6(日)

B 会場: 東京都心身障害者福祉センター 12 階

第 2 回 5/7(日) 第 4 回 10/18(日) 第 6 回 2/14(日)

◇申し込み: mie_hosomi@jcom.zaq.ne.jp 080-3483-8955 (担当: 細見) 事務局 Tel/Fax: 03-3408-3798

詳細は今後 HP <http://www.brain-tkk.com/> に掲載します。

【2】加盟団体等の活動

* *

○家族会「かつしか」2019 年 11 月 1 日より「特定非営利活動法人高次しょうぶ」となりました。

○「就労継続支援 B 型事業所 リハスワーク としま」2019 年 1 月 6 日に開所し、随時、見学・体験を実施しています。

金沢 QOL 支援センター株式会社 脳卒中・身体障害専門就労支援センター「リハス」東京大塚

◇問合せ TEL: (03)5944-5134/(080)3240-8457 FAX: (03)5944-5135 就労支援員/理学療法士 大橋綾菜

詳細は: <https://rehas-job.k-qol.com/>

○フォーラム大田高次脳

1) 高次脳機能障害と困基&心の唄 大田区障がい者サポートセンター、3/1(日)9 時~12 時、4/5(日)9 時~12 時

2) たまりば~ 蒲田寺子屋 いずれも 13 時~15 時、1/26(日)、2/23(日)、3/22(日)、4/26(日)

3) 障害別相談会(高次脳機能障がい) 大田区障がい者サポートセンター5 階 2/9(日)13 時~15 時

「たまりば~」開催 100 回からみえてきた家族支援

○杉並高次脳機能障害家族会

バスハイク 2 月 15 日(土曜日)8:00~16:00 いちご狩り&グリコ工場見学&小江戸川越

ランチ会 3 月 14 日(土曜日)11:30~ ランチ(新宿アパホテル内)&新宿御苑散策

その他 カフェクローバー(家族や支援者) マイカフェ (当事者)

○高次脳機能障害者と家族の会

2 月交流会「懇談会と調理&ランチ!」2 月 2 日(日)10~14 時 大久保地域センター(新宿区大久保 2-12-7)3 階調

理室・JR 山手線 新大久保駅徒歩 8 分、東京メトロ副都心線 東新宿駅徒歩 6 分、都営大江戸線 東新宿駅徒歩 7 分

持ち物(当事者グループ): エプロン 三角巾(バンダナ等)タオル、参加費: 1 人 500 円(昼食材料費)

◇申し込み: 前日までに FAX・メールでお願いします FAX: 03-3200-8970 メールアドレス: koujinou_kazokukai@yahoo.co.jp、

当日連絡先: 090-8036-8606(太田)、090-9204-2521(松枝)

○世田谷高次脳機能障害連絡協議会 後援: 世田谷区 世田谷ボランティア協会

「春の音コンサート 2020 ~高次脳機能障害のハードルを越えて~」

2 月 9 日(日)13:00~15:30(開場 12:30) 成城ホール(世田谷区成城 6-2-1)※駐車場がありませんので、電車・バスをご利用下さい。【アクセス】・電車: 小田急線「成城学園前駅」下車 徒歩 4 分

・バス: 成 01・02・04・05・06・歳 20・21 「成城学園前駅北口」下車、徒歩 3 分。都立 01・等 12・玉 07・用 06 「成城学園前駅南口」下車、徒歩 4 分。渋 24「成城学園前駅西口」下車、徒歩 5 分。【注】乗り場は「南口」

◇参加費:990円 ◇問い合わせ:TEL 03-5491-0340 FAX 03-3413-5039

====2008年に、高次脳機能障害者が舞台の上で主演となり、それぞれの表現方法でメッセージを伝える場としてスタートした『春の音コンサート』は今年で13回を迎えます。今年は成城ホールでの開催です。久しぶりのホールの舞台、出演者たちも力が入ります！
==== 高次脳機能障害者と家族の会 代表 今井 雅子

○みなと高次脳

<交流 café コージノウ・コーナー(2019年度最終定例会)>

2/20(木) pm2:00~5:00 港区立障害保健福祉センター 会議室(港区芝1-8-23)、・参加費無料 ・途中参加・退室自由 ・申込み不要

詳細は: <https://www.city.minato.tokyo.jp/kenko/fukushi/shogaisha/madoguchi/hokenfukushi.html>

====会員も会員でない方も、日頃の高次脳機能障害の不安や疑問や他の方に聞きたいことなど、何でも話をしに来ませんか？ お茶を飲んでおしゃべりができる集まりです。コーヒー、紅茶、日本茶、お菓子を用意してお待ちしております。

====みなと高次脳 代表 高井玲子

○企画運営:「みんなのセンターおむすび」、中途障害者と家族の会「のびるの会」、共催:板橋区教育委員会、NPO 法人ボランティア・市民活動推進センターいたばし 協力:TKK、板橋区地域自立支援協議会高次脳機能障害部会「高次脳機能障がい者支援とその課題を考える」

3/14(土) 9:50~12:00 板橋地域センター レクリエーションホール第1(板橋区板橋3-14-15)

1 趣旨説明 中途障害を持つ人のデイサービスを作ろう会代表 本山千恵子

2 パネルトーク「高次脳機能障がい者支援とその課題を考える」司会 目白大学教授 會田玉美

パネリスト 本山千恵子 中村博志 平田太一 岡 登貴子(敬称略)

3 グループワーク

◇問い合わせ:大原生涯学習センター(まなぽーと大原) Tel 03-3969-0401

【3】行政、他団体の活動

* *

<2019年度 港区主催(TKK 受託事業)「高次脳機能障害 相談会」>

1月~3月の毎月第3木曜日 午後 港区立障害保健福祉センター 6階相談室

◇ 申込:港区障害者福祉課精神障害者担当 TEL:03-3578-2457

港区立障害保健福祉センター 高次脳機能障害相談員(OT・ST・PSW)、TKK 役員、家族会役員が相談に当たります。

詳しくは、次から: http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=221

●「高次脳機能障害講演会」 港区主催 2019/10/20、みなとパーク芝浦 1階「リーブラホール」

<講演1>13:40~15:00 [脳損傷による後遺症: てんかんの診断と治療]

~救命されたけれど、後遺症のてんかん発作が、うしよう?~

講師:稲次 基希氏(東京医科歯科大学 医学部附属病院 脳・神経・精神 診療部門 脳神経外科/講師/医師)

<講演2>15:20~16:20 [高次脳機能障害者の自立と就労に向けて]

～東京都の高次脳機能障害支援普及事業の支援拠点である東京都心身障害者福祉センターが実施の、社会生活評価プログラムと就労準備支援プログラムから～

講師: 中村 哲之氏 (東京都心身障害者福祉センター地域支援課 就労支援担当)

==== <講演1>の稲次先生のお話についてのご講演は、パワポ全 105 画面による大容量の内容であった。てんかんの定義、診断・分類、治療(薬剤による内科的治療、手術による外科的治療)、てんかんと間違われやすい痙攣などについて学び、普段入手できない貴重な知識を得ることができた。<講演2>の中村氏のご講演は、現在、都心障センターで実施しているが、これらの所は、決してリハビリ施設ではないということ。社会生活がどれくらい回復しているかの評価や、就労への準備がどれほど備わっているかどうかを評価し、今後に役立てるための評価をする所とのご説明頂いたが、ここに毎日通うこと自体が、大変なリハビリになると、私は確信している。==== TTK 理事長 細見 みゑ

●令和元年第 2 回北多摩南部医療圏高次脳機能障害地域支援研修会 主催: 東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科 2019/11/10 調布市総合福祉センター

・講演 「高次脳機能障害の相談支援」

神奈川県総合リハビリテーション事業団地域リハビリテーション支援センター 総括主査 瀧澤学氏

・高次脳機能障害支援事業所・施設報告

① 高次脳機能障害のある方のグループホームについて 特定非営利活動法人ミモザ 山本弓彦氏

② ワークショップハーモニーの活動について 社会福祉法人にじの会ワークショップハーモニー 小木曾淳氏

・事例検討 「プラモデルで自室の床が占領されていく事例」 クラブハウスすてっぷなな統括所長 野々垣睦美氏

====「クラブハウスすてっぷなな」所長の野々垣氏のお話にはいつも感動させられる。その事業の一つに、「自立生活アシスタント事業」があるが、「プラモデルで自室の床が占領されていく」事例では、どのように支援していったら解決できるかについて参加者皆様と活発に意見を出し合いながら、有意義な検討会を行うことができた。この「自立生活アシスタント」とは、つまり、お金の使い方、通院同行・練習、環境設定、書類作成・契約時の同行・評価、余暇支援、日中の活動先の紹介と同行・練習、他の支援者(区役所・地域包括・ヘルパー・家族・病院やリハセンターなど)と情報共有、等々を支援することであり、高次脳機能障害を持つ方が一人暮らしをする際は、絶対的に必要な支援である。このような支援が、東京及び全国に普及し、高次脳機能障害者に向けて当たり前の支援になって欲しい。====細見 みゑ

●都第 2 回 高次脳機能障害者相談支援研修会 主催: 都身障 2019 年 11/22 東京都社会福祉保健医療研修センター
高次脳機能障害の方の生活を支える社会保障制度

「労働者災害補償保険制度について」 東京労働局労働基準部労災補償課

「雇用保険制度について」 東京労働局職業安定部雇用保険課

「障害年金について」 日本年金機構新宿年金事務所

「高次脳機能障害の方の生活を支える社会保障制度 事例を通して」

YORISOU 社会保険労務士法人 代表 松山 純子 氏

====研修会資料「高次脳機能障害の方の生活を支える社会保障制度」のほか、厚労省都道府県労働局労基署の「労災保険給付の概要」、ハローワークの「離職された皆様へ」、日本年金機構の「障害年金ガイド」、国民年金・厚生年金保険の「精神の障害に係る等級判定ガイドライン及び診断書等々の書類」など、大変貴重な資料満載で、障害を持つことになった方々やそのご家族の人生再構築に欠かせない社会制度についての研修であった。特に松山労務士資料の中の、高

次脳機能障害の等級を判断する際の、日常生活の事例紹介は非常に参考になった。これら大量の難解な内容を完璧に習得できれば、カリスマ相談支援員になれるのであろう。しかし、完璧でなくてもこれらを学んだことがヒントとなり、次の支援につながり、当事者やそのご家族の生きる道標にならんことを心から願ってやまない。 ===細見 みゑ

<港区高次脳機能障害研修会、事業受託:TKK、協力:高次脳機能障がい者の未来を紡ぐ会「みなと高次脳」>

●第1回 1/22(水)、18:30~20:30

[講演]「脳卒中のリハビリテーション」 講師:羽田 拓也氏(東京慈恵会医科大学附属病院/リハビリテーション科/医師)

[事例報告]「社会的リハビリテーション~地域における自立に向けた支援~」

パネリスト:宇津野 絵里氏(港区立障害保健福祉センター/ST)

=== [講演]「脳卒中のリハビリテーション」について、慈恵医大の新進気鋭の羽田先生から学ぶ機会を得た。死因別3大疾病のうち3番目だった脳血管疾患は、救急救命と生活習慣の進歩か、近年は、老衰に順番を譲りつつある。しかし、救命されても介護が必要となる率は全疾病の中、認知症と同じくらいであることは、やはり、大変な疾病なのだ…と思わざるを得ない。脳卒中のうち、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血があるが、くも膜下出血は遺伝性の要因が含まれるから、家族にくも膜下出血の方がおられた場合、日頃、脳ドックなどで脳血管に瘤(こぶ)が出来ていないかを調べておいたほうが良いとのこと。脳の可塑性と機能的再構築のためにはリハビリや薬物、TMSがある。TMS治療というものは、磁場を発生させ、局所的に刺激することにより、脳の持つ可塑性を最大限に引き出して脳機能のさらなる改善をさせる治療法とのこと。その詳細を学ぶことができた。今では上肢麻痺などの身体機能改善だけでなく、失語症などの高次脳機能障害にも効果が出ているとのことであった。[事例報告]「社会的リハビリテーション~地域における自立に向けた支援~」は、港区立障害保健福祉センター言語聴覚士の宇津野氏のご講演であった。港区は、社会的リハビリテーションとしての高次脳機能障害のある方への支援として、高次脳機能障害者機能訓練をしており、その具体的な支援事例を発表していただいた。この事業が区単独事業で実施してくれていることから、他の区市町村の参加者から羨ましがられていた。 ===細見 みゑ

○第2回 2/5(水)、18:30~20:30 リーブラホール(港区立男女平等参画センター) 港区芝浦 1-16-11

[講演]「高次脳機能障害にかかわる支援者の考え方」

講師:渡邊 修氏(東京慈恵会医科大学附属第三病院/リハビリテーション科/医師)

[事例検討](検討会含む)「困難事例の支援について」 講師・座長:渡邊 修氏

詳しくは、 http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=231

○失語症を知ろう 共催:調布市社会福祉協議会・障害者地域活動支援センター「ドルチエ」、調布失語症友の会「話楽」

後援:東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 東京調布ライオンズクラブ

2/15(土) 14:00~16:00 調布市総合福祉センター2階(調布市小島町 2-47-1 京王線調布駅 広場口 徒歩1分)

・基調講演 『失語症を知っていただくために!~日本失語症協議会の活動から~』

非営利活動法人日本失語症協議会 副理事長 園田尚美

・特別講演 『あきらめるな!失語症に対する最新の治療』 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座

主任教授 安保雅博

定員:100名 事前のお申し込みがなくても受講可ですが、満席の場合は、入場をお断りする場合があります。

◇問合せ:調布市社協・障害者地域活動支援センター「ドルチエ」 ◇申し込み:Tel 042-490-6675(平日 9:00~17:00)

○杉並区講演会 知ってほしい高次脳機能障害 ～ともに助け合う世の中に～

3/7(土)13:30 ～ 16:00 高井戸地域区民センター2階(高井戸東 3-7-5) 第1第2集会室

【交通アクセス】・京王井の頭線「高井戸駅」から 徒歩3分 ・JR「荻窪駅」より 南口4番バス乗り場 から「荻 54 芦花公園駅行き」・「荻 58 北野行き」に乗車 「高井戸駅」で下車 徒歩1分

1 部:ミニ講座 「高次脳機能障害の基礎知識」

杉並リハビリテーション病院 作業療法士 早瀬 智珠 氏 (はやせ ともみ)

2 部:講演会 「知ってほしい高次脳機能障害」～ともに助け合う世の中に～

イラストレーター・高次脳機能障害コウジ村代表 柴本 礼 氏 (しばもと れい)

◇問合せ 杉並区障害者生活支援課(杉並区高井戸東 4-10-5) 地域生活支援担当:八木・大岡・関口・須賀

TEL 03-3332-1817 FAX 03-3332-1826

以上